

第 章 食肉販売店の仕入動向

- 要 約 -

【食肉の仕入構成と仕入量】

- 平成21年10月1ヶ月間の1店当たり仕入量は、「牛肉」782kg、「豚肉」1,550kg、「鶏肉」1,127kgである。
- 食肉の仕入構成比は、「牛肉」が27.8%、「豚肉」が54.1%、「鶏肉」が18.0%である。
- 業態別で見ると、「百貨店」と「食肉専門店」は「牛肉」の仕入構成比が高く、約4割であった。
- 地域別では、「近畿」「四国」「中国」は「牛肉」の仕入比率が高く、「北海道」「東北」「関東」では、「豚肉」の仕入比率が高い。
- 品種別で見ると、「牛肉」では「和牛肉」が41.1%を占める。「豚肉」は「黒豚肉」「SPF豚肉」「銘柄豚肉」が合わせて41.7%、「その他国産豚肉」が43.4%、「鶏肉」は「国産鶏肉」が82.3%を占める。

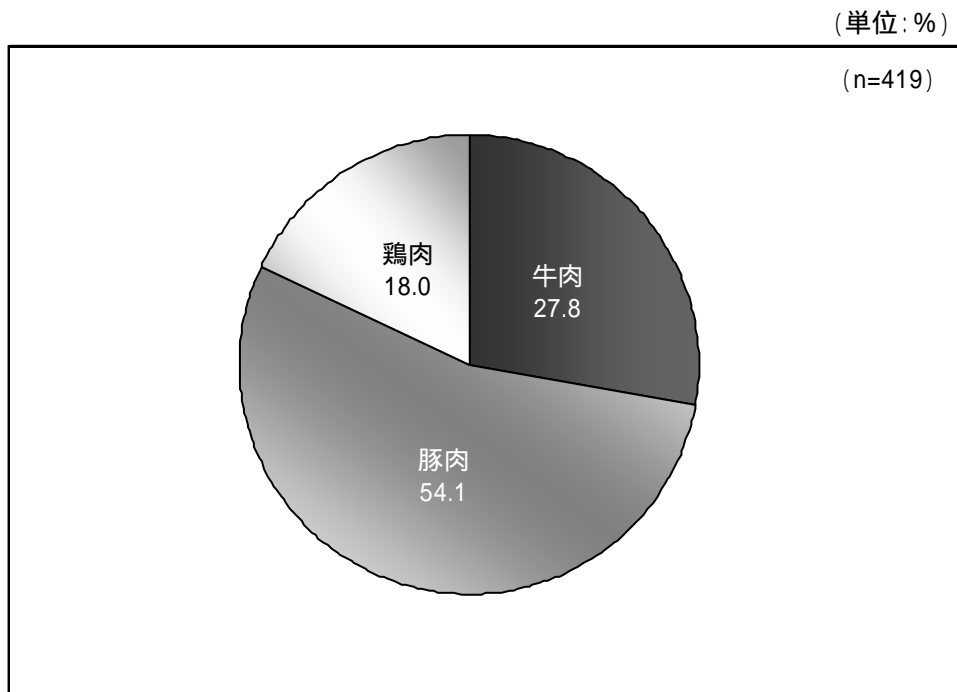
【食肉仕入時の重視項目】

- 仕入時に重視する項目は、「価格」(29.7%)が最も多く挙げられた。以下「肉色」(19.7%)、「産地」(13.6%)と続く。また、輸入肉の場合は「価格」を重視する傾向がより強く、「米国産牛肉」では約3割、「豪州産牛肉」「輸入豚肉」では約4割、「輸入鶏肉」では約半数が「価格」と回答している。

1 食肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

1. 肉種別にみる仕入構成と仕入量

図表 -1 肉種別仕入構成比



仕入構成比を見ると、「牛肉」が27.8%、「豚肉」が54.1%、「鶏肉」が18.0%となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

1 食肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

1. 肉種別にみる仕入構成と仕入量

図表 - 2 肉種別仕入構成比と仕入量

	全店舗	牛肉	豚肉	鶏肉
回答店舗数	419	391	384	176
総仕入量 (kg)	1,099,451	305,691	595,336	198,424
1店当たり仕入量 (kg)	2,624	782	1,550	1,127
構成比	100.0%	27.8%	54.1%	18.0%

1店当たりの仕入量は、「牛肉」782kg、「豚肉」1,550kg、「鶏肉」1,127kg

平成21年10月1ヶ月間の1店当たり仕入量は合計で2,624kgであり、前年と比べると672kg増加している。仕入量が増加した要因の一つとしては、回答者に占める「食肉専門店」の比率が前年に比べ低くなり、「食品スーパー」の比率が上がっていることが挙げられる。前回調査では、「食肉専門店」の回答者に占める比率が53.4%であったのに対して、今年は40.2%に減っている。さらに「食品スーパー」は前年34.3%が今年43.7%に増えている。結果として全体的に規模の大きい店舗の回答比率が高まり、1店当たりの仕入量が増えているものと考えられる。また、「図表 - 3 肉種別仕入構成比と仕入量の推移：業態別」で示すとおり、「総合スーパー」「食品スーパー」の仕入量が増加したことも要因の一つとして挙げられる。これは回答したチェーン店によって運営方法や規模の違いがあることが考えられ、それによって結果が大きく変動している可能性がある。

1 食肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

2. 肉種別にみる仕入構成:業態別

図表 - 3 肉種別仕入構成比と仕入量の推移:業態別

		回答 店舗数	1店当たり 仕入量 (kg)	仕入構成比(%)		
				牛肉	豚肉	鶏肉
百貨店	H19	48	3,998	41.8	42.3	15.8
	H20	15	3,475	41.3	46.8	11.9
	H21	17	2,608	42.9	34.5	22.6
総合スーパー	H19	62	9,560	19.3	67.6	13.1
	H20	11	2,287	26.1	60.6	13.3
	H21	15	4,726	29.3	50.4	20.3
食品スーパー	H19	198	4,674	24.1	59.1	16.8
	H20	153	3,757	24.7	56.6	18.7
	H21	162	4,183	22.4	58.3	19.2
農協・生協ストア	H19	46	2,580	31.3	50.3	18.4
	H20	16	1,325	21.4	64.7	13.8
	H21	24	1,650	23.5	47.3	29.2
食肉専門店	H19	347	1,444	37.9	52.8	9.2
	H20	270	922	33.2	54.3	12.5
	H21	192	1,271	40.7	47.1	12.2
その他	H19	-	-	-	-	-
	H20	9	564	44.0	52.7	3.3
	H21	9	2,545	23.0	66.9	10.2

「百貨店」以外では前回調査に比べて1店当たり仕入量が増加

前回調査では、すべての業態で1店当たり仕入量が減少していたが、今回は「百貨店」以外の業態においては、前回調査より増加している。こちらの要因については - 2 で述べた通りだが、「百貨店」では減少が続いており、平成21年は2,608kgにまで落ち込んでいる。

「食品スーパー」、「食肉専門店」では、ともに平成19年調査時と同水準に戻っている。「総合スーパー」では4,726kgと前年の2倍以上に増加しているが、回答店舗数が15件と少ないため、結果に与える影響が大きいと考えられる。

「百貨店」「食肉専門店」では牛肉の仕入比率が高い

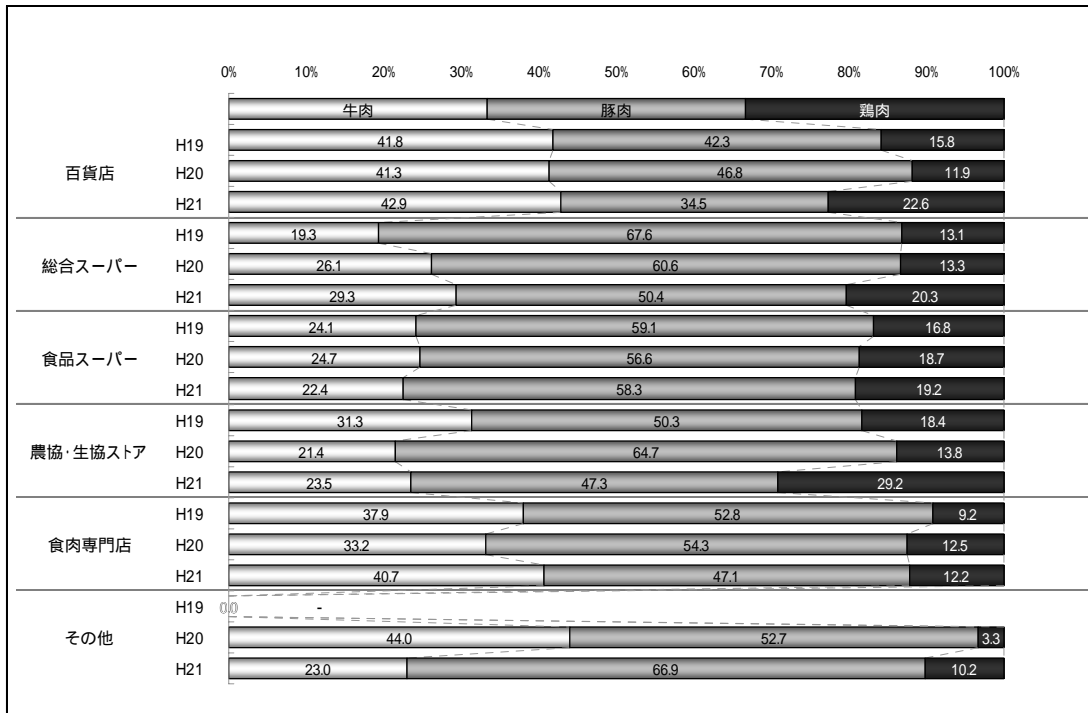
肉種別の仕入構成比を見ると、「百貨店」と「食肉専門店」では他業態に比べ「牛肉」の仕入構成比が高く、約4割となっている。「豚肉」の仕入構成比は「食品スーパー」以外では前年より減少している。また、「鶏肉」の仕入構成比は「百貨店」「総合スーパー」「食品スーパー」「農協・生協ストア」で前年より増加している。

1 食肉の仕入構成と仕入量 (平成21年10月分)

2. 肉種別にみる仕入構成: 業態別

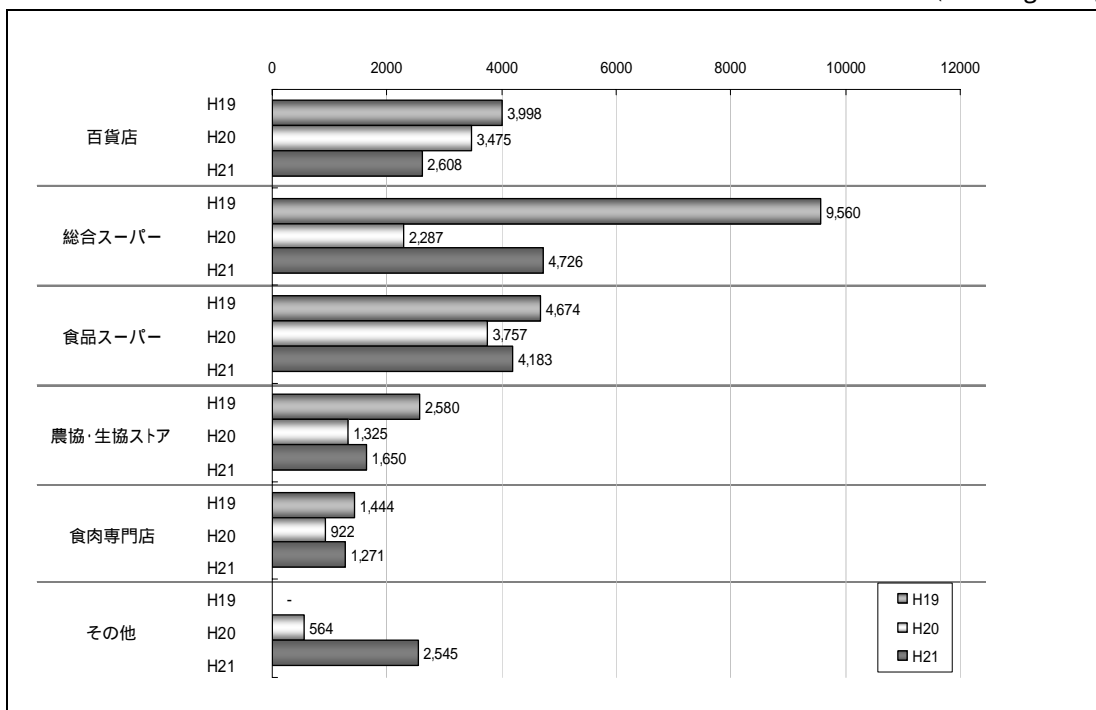
図表 - 4 肉種別仕入構成比の推移: 業態別

(単位: %)



図表 - 5 1店当たり食肉仕入量の推移: 業態別

(単位: kg / 店)



1 食肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

3. 肉種別にみる仕入構成:地域別

図表 - 6 肉種別食肉仕入構成比と仕入量の推移:地域別

		回答 店舗数	1店当たり 仕入量 (kg)	仕入構成比(%)		
				牛肉	豚肉	鶏肉
北海道	H19	27	2,232	19.0	70.9	10.1
	H20	21	1,994	17.8	53.9	28.3
	H21	29	2,546	11.6	69.1	19.3
東北	H19	73	3,638	21.9	66.4	11.7
	H20	42	1,960	22.3	53.6	24.2
	H21	48	2,691	18.3	59.1	22.6
関東	H19	218	4,478	22.1	64.3	13.6
	H20	138	1,746	21.2	66.2	12.7
	H21	127	2,837	23.9	60.4	15.7
北陸	H19	32	3,195	29.2	74.6	18.4
	H20	55	1,721	24.8	52.4	14.5
	H21	18	2,057	26.3	56.6	17.1
東海	H19	110	3,137	26.1	55.1	15.3
	H20	49	3,100	20.5	58.5	18.9
	H21	48	3,260	29.7	56.8	13.5
近畿	H19	84	2,543	51.3	39.4	9.3
	H20	56	2,281	49.6	39.5	10.8
	H21	59	2,648	41.1	38.7	20.2
中国	H19	48	2,897	36.4	47.2	16.4
	H20	28	1,965	42.1	42.9	15.0
	H21	26	3,100	35.8	45.2	19.0
四国	H19	19	1,886	51.0	39.8	16.2
	H20	9	1,193	40.1	36.6	12.3
	H21	11	1,977	40.8	41.5	17.7
九州・沖縄	H19	89	2,050	32.2	44.5	19.7
	H20	46	1,907	28.6	43.9	23.9
	H21	53	1,586	34.6	41.4	24.0

1店当たり仕入量は「東海」「中国」で多く、「九州・沖縄」で少ない

「東海」「中国」は他の地域に比べ1店当たり仕入量が多く、それぞれ3,260kg、3,100kgとなっている。1店当たり仕入量が少ないのは「九州・沖縄」で、1,586kgにとどまる。

「近畿」「四国」「中国」では「牛肉」の仕入比率が多く、「北海道」「東北」「関東」では「豚肉」の仕入比率が多い

「近畿」「四国」は他の地域に比べ「牛肉」の仕入比率が高く、4割を超えている。「中国」でも「牛肉」の仕入比率が35.8%と高い。

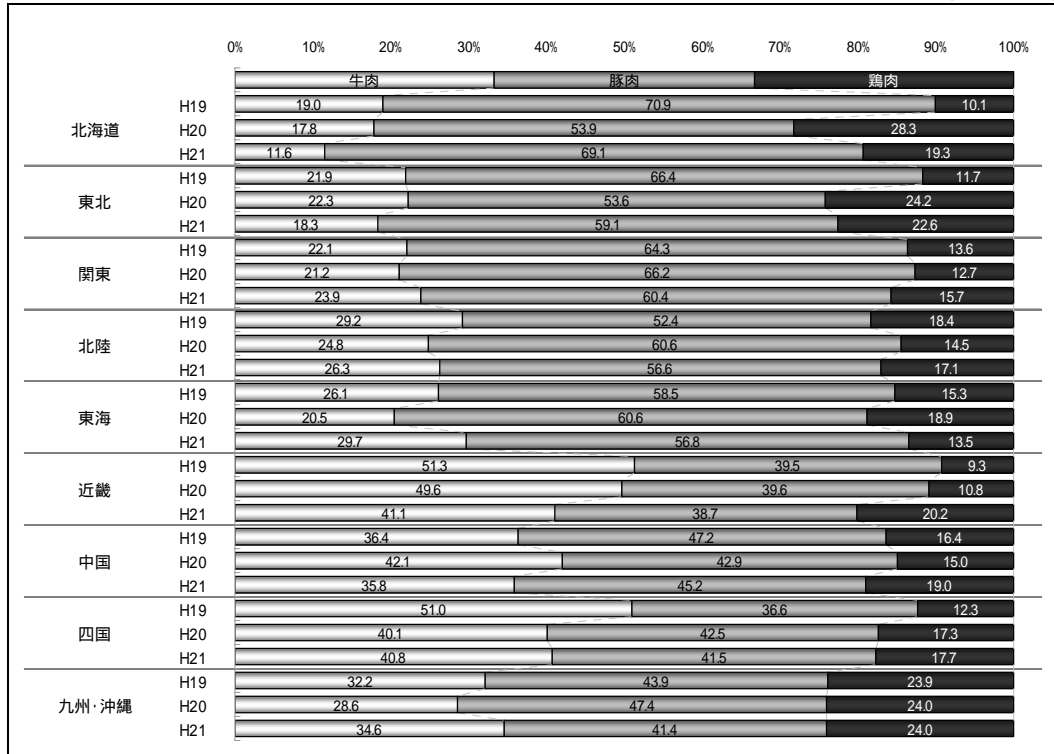
「豚肉」の仕入比率が高い地域は、「北海道」「東北」「関東」で、それぞれ69.1%、59.1%、60.4%となっている。

1 食肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

3. 肉種別にみる仕入構成:地域別

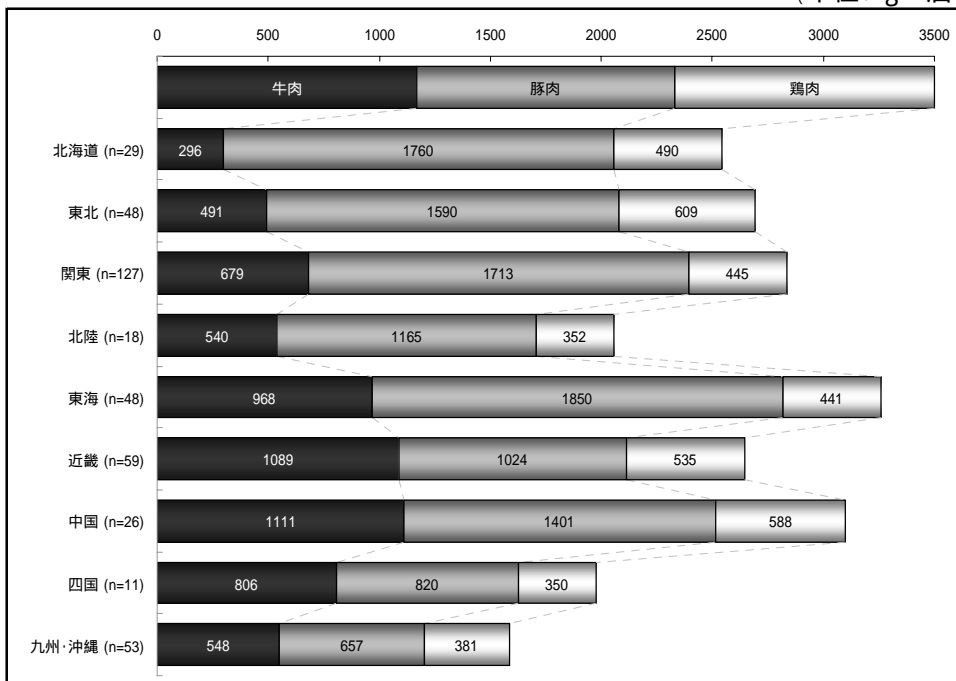
図表 - 7 肉種別仕入構成比の推移:地域別

(単位:%)



図表 - 8 肉種別1店当たり食肉仕入量:地域別

(単位:kg/店)



2 牛肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

1. 牛肉の仕入構成

図表 - 9 牛肉の品種別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	総仕入量(kg)	1店当たり仕入量(kg)	仕入構成比(%)							
				和牛肉	国産牛肉乳用種	国産牛肉交雑種	その他国産牛肉	米国産牛肉	豪州産牛肉	その他輸入牛肉	
全店舗	391	305,691	782	41.1	12.3	25.3	0.4	2.7	17.4	0.8	
業態別	百貨店	16	19,013	1,188	64.0	5.3	23.0	0.8	0.0	6.9	0.0
	総合スーパー	15	20,804	1,387	38.9	14.2	18.8	0.0	1.2	24.7	2.2
	食品スーパー	151	151,974	1,006	24.6	16.3	28.5	0.4	4.2	25.1	0.9
	農協・生協ストア	20	9,325	466	25.1	54.2	10.2	0.0	0.0	10.5	0.0
	食肉専門店	183	99,316	543	63.0	3.5	24.0	0.3	1.2	7.4	0.7
	その他	6	5,259	877	56.8	5.7	21.6	0.0	10.1	5.9	0.0
地域別	北海道	26	8,570	330	8.5	12.8	21.6	0.0	19.6	37.2	0.2
	東北	42	23,585	562	49.7	12.0	17.3	0.0	5.3	15.3	0.4
	関東	122	86,259	707	29.7	6.8	36.4	0.3	2.9	23.3	0.6
	北陸	16	9,725	608	46.1	19.0	17.4	0.0	0.5	11.0	6.0
	東海	46	46,487	1,011	53.5	12.4	18.6	0.0	1.9	13.5	0.1
	近畿	57	64,266	1,127	51.1	7.1	25.1	0.3	1.1	14.2	1.1
	中国	25	28,884	1,155	30.7	24.6	25.5	0.0	2.6	15.6	0.9
	四国	10	8,869	887	22.7	30.2	30.2	2.5	1.1	13.4	0.0
	九州・沖縄	47	29,046	618	49.9	20.1	12.3	1.3	1.4	14.1	0.9

国産牛肉全体の比率は79.1%、「和牛肉」だけで41.1%を占める

牛肉の1店当たり仕入量は782kgで、そのうち79.1%を国産牛肉(「和牛肉」、「国産牛肉乳用種」、「国産牛肉交雑種」、「その他国産牛肉」の合計)が占め、残りの20.9%が輸入牛肉である。

品種別では、「和牛肉」が41.1%を占め、次いで「国産牛肉交雑種」の25.3%、「豪州産牛肉」の17.4%、「国産牛肉乳用種」の12.3%の順となっている。

業態別では、「百貨店」と「食肉専門店」では「和牛肉」の構成比が高く、ともに仕入量の6割以上を占める。「総合スーパー」と「食品スーパー」は、全店舗平均に比べて「豪州産牛肉」の構成比が高く、ともに4分の1近くを占める。「農協・生協ストア」では「国産牛肉乳用種」の構成比が高く、半数以上を占める。

「東海」「近畿」「九州・沖縄」「東北」「北陸」で「和牛肉」の構成比が高く、「北海道」と「関東」では輸入牛肉の比率が高い

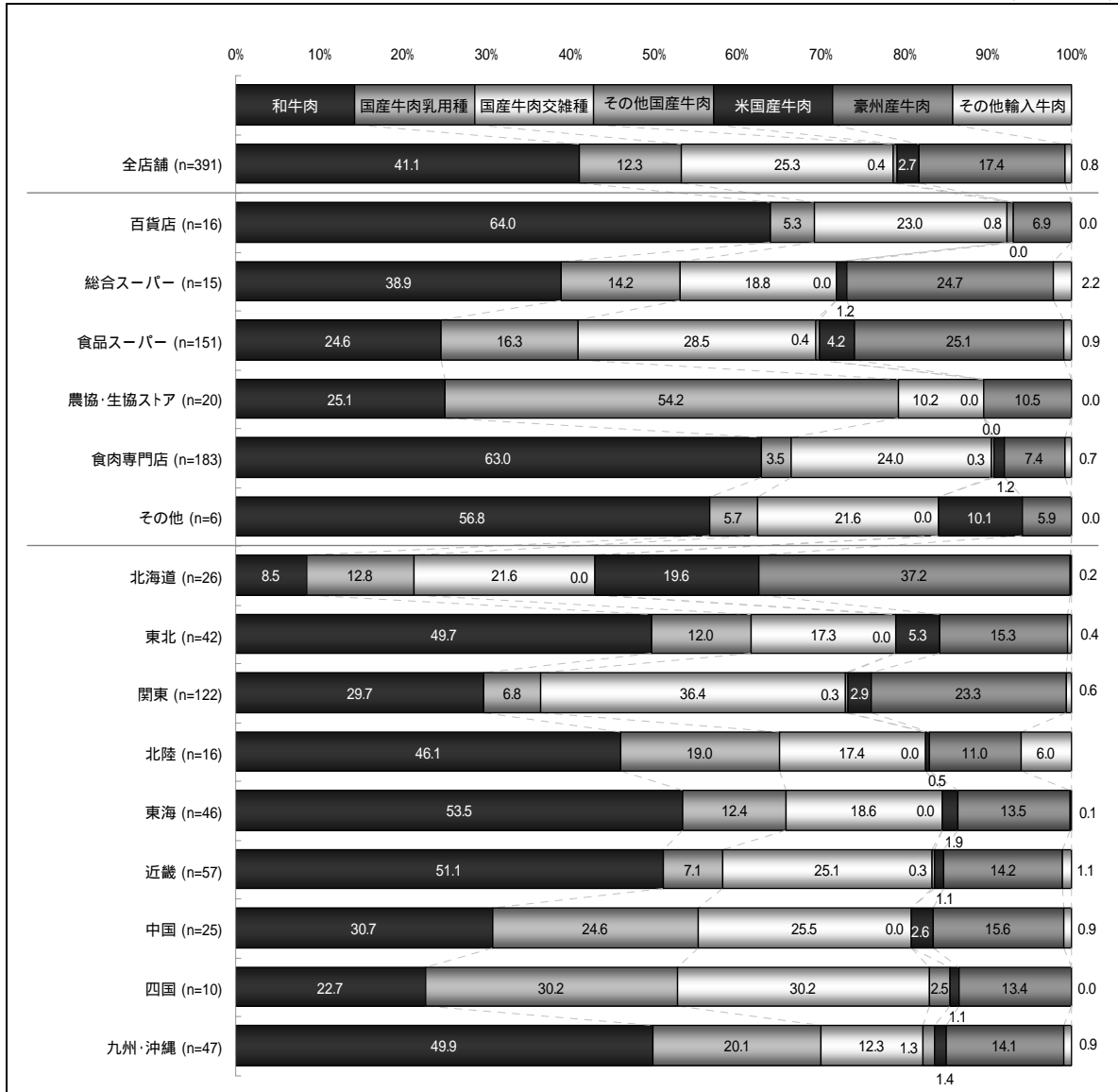
地域別では、「和牛肉」の構成比は「東海」「近畿」「九州・沖縄」「東北」「北陸」の順で高く、いずれも約5割を占める。一方で「北海道」では、輸入牛肉の構成比が目立って高い。「関東」でも「豪州産牛肉」の構成比が23.3%と高くなっている。

2 牛肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

1. 牛肉の仕入構成

図表 -10 牛肉の品種別仕入構成比:業態別・地域別

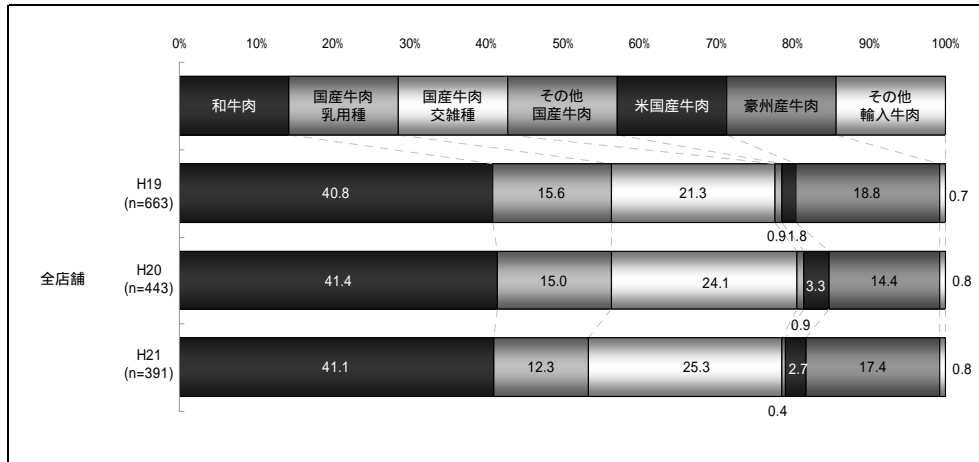
(単位:%)



2 牛肉の仕入構成と仕入量 (平成21年10月分)

1. 牛肉の仕入構成

図表 -11 牛肉の品種別仕入構成比推移 (単位: %)



図表 -12 牛肉の品種別仕入構成比推移:業態別

	回答店舗数	1店当たり仕入量 (kg)	仕入構成比 (%)							
			和牛肉	国産牛肉乳用種	国産牛肉交雑種	その他国産牛肉	米国産牛肉	豪州産牛肉	その他輸入牛肉	
全店舗	H19	663	973	40.8	15.6	21.3	0.9	1.8	18.8	0.7
	H20	443	586	41.4	15.0	24.1	0.9	3.3	14.4	0.8
	H21	391	782	41.1	12.3	25.3	0.4	2.7	17.4	0.8
百貨店	H19	48	1,673	53.4	10.6	24.3	2.5	0.2	8.9	0.1
	H20	15	1,435	58.2	3.8	28.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	H21	16	1,188	64.0	5.3	23.0	0.8	0.0	6.9	0.0
総合スーパー	H19	61	1,873	26.5	18.0	9.0	1.2	4.0	41.0	0.3
	H20	11	597	30.1	21.2	25.2	0.0	2.7	20.8	0.0
	H21	15	1,387	38.9	14.2	18.8	0.0	1.2	24.7	2.2
食品スーパー	H19	193	1,158	25.0	21.3	26.3	0.6	2.4	23.1	1.2
	H20	151	940	31.0	21.3	23.4	1.1	4.0	17.8	1.4
	H21	151	1,006	24.6	16.3	28.5	0.4	4.2	25.1	0.9
農協・生協ストア	H19	45	827	56.0	18.8	17.2	1.1	-	5.3	1.6
	H20	14	325	19.2	37.2	35.4	4.7	0.0	3.5	0.0
	H21	20	466	25.1	54.2	10.2	0.0	0.0	10.5	0.0
食肉専門店	H19	316	601	59.6	9.0	22.3	0.3	0.9	7.3	0.6
	H20	243	340	57.7	6.0	24.1	0.6	2.4	9.0	0.2
	H21	183	543	63.0	3.5	24.0	0.3	1.2	7.4	0.7
その他	H19	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	H20	8	279	18.4	0.9	4.1	0.9	33.6	42.1	0.0
	H21	6	877	56.8	5.7	21.6	0.0	10.1	5.9	0.0

国内産牛肉の仕入構成比は2.3ポイント低下

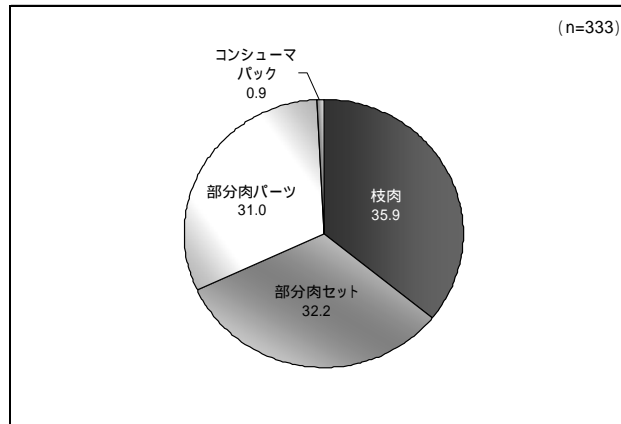
国内産牛肉合計の仕入構成比は79.1%で、前回調査の81.4%から2.3ポイント低下している。「国産牛肉乳用種」の仕入構成比は平成19年調査より漸増しているが、「国産牛肉乳用種」が前回より2.7ポイント低下、輸入牛肉では「豪州産牛肉」が前回より3.0ポイント上昇している。業態別に見ると、「和牛肉」の仕入構成比は「食品スーパー」以外では増加している。「国産牛肉乳用種」の仕入構成比は「総合スーパー」「食品スーパー」で減少している。「農協・生協ストア」では「国産牛肉乳用種」が大きく増加し、「国産牛肉交雑種」が大きく減少した。

2 牛肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

2. 商品別にみる牛肉の仕入形態

1) 和牛肉

図表 -13 和牛肉の形態別仕入構成比 (単位: %)



図表 -14 和牛肉の形態別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	総仕入量 (kg)	1店当たり仕入量 (kg)	形態別仕入構成比 (%)				
				枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	333	125,629	377	35.9	32.2	31.0	0.9	
業態別	百貨店	15	12,173	812	23.5	52.9	23.6	0.0
	総合スーパー	15	8,095	540	13.0	41.8	44.8	0.4
	食品スーパー	129	37,431	290	30.7	29.6	37.5	2.3
	農協・生協ストア	15	2,343	156	0.0	19.4	70.9	9.7
	食肉専門店	155	62,602	404	45.2	28.3	26.4	0.1
	その他	4	2,985	746	48.1	45.2	6.7	0.0
地域別	北海道	17	731	43	9.6	40.1	50.3	0.0
	東北	34	11,714	345	62.4	18.6	18.3	0.7
	関東	101	25,597	253	7.7	41.6	49.3	1.4
	北陸	14	4,482	320	71.8	14.7	13.4	0.0
	東海	40	24,873	622	58.6	11.5	29.4	0.5
	近畿	55	32,859	597	38.2	36.8	24.2	0.9
	中国	19	8,870	467	33.9	45.3	20.8	0.0
	四国	9	2,011	223	0.0	58.2	40.8	1.0
九州・沖縄	44	14,492	329	16.9	44.9	36.4	1.8	

「和牛肉」の1店当たり仕入量は377kg、「枝肉」35.9%、「部分肉セット」32.2%、「部分肉パーツ」31.0%

業態別では「百貨店」が812kgと多く、以下「総合スーパー」の540kg、「食肉専門店」の404kgの順で多い。

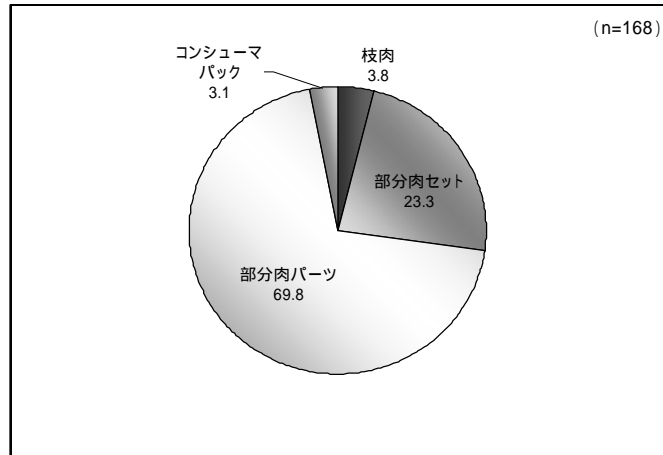
形態別仕入構成比を見ると、「枝肉」(35.9%)が最も高く、「部分肉セット」(32.2%)と「部分肉パーツ」(31.0%)と続く。地域別では、「東海」「近畿」「中国」の順で1店当たり仕入量が多い。

2 牛肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

2. 商品別にみる牛肉の仕入形態

2) 国産牛肉(乳用種)

図表 -15 国産牛肉(乳用種)形態別仕入構成比 (単位:%)



図表 -16 国産牛肉(乳用種)の形態別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	総仕入量 (kg)	1店当たり仕入量 (kg)	形態別仕入構成比(%)				
				枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	168	37,586	224	3.8	23.3	69.8	3.1	
業態別	百貨店	6	1,000	167	0.0	38.0	62.0	0.0
	総合スーパー	11	2,952	268	0.0	1.4	95.3	3.4
	食品スーパー	84	24,843	296	3.6	26.2	67.2	3.0
	農協・生協ストア	20	5,056	253	0.0	17.3	76.2	6.4
	食肉専門店	44	3,437	78	7.3	27.9	64.7	0.0
	その他	3	298	99	86.9	0.0	13.1	0.0
地域別	北海道	13	1,097	84	6.4	0.0	93.6	0.0
	東北	19	2,827	149	0.0	32.4	63.7	3.9
	関東	43	5,876	137	5.0	63.2	28.3	3.5
	北陸	9	1,850	206	15.1	31.9	52.8	0.2
	東海	22	5,774	262	0.0	23.7	72.8	3.5
	近畿	17	4,537	267	4.6	7.9	87.4	0.0
	中国	14	7,111	508	3.5	0.0	94.4	2.0
	四国	9	2,676	297	11.4	18.3	68.4	1.9
	九州・沖縄	22	5,838	265	0.0	22.6	69.7	7.7

「国産牛肉(乳用種)」の1店当たり仕入量は224kg、「部分肉パーツ」69.8%、「部分肉セット」23.3%

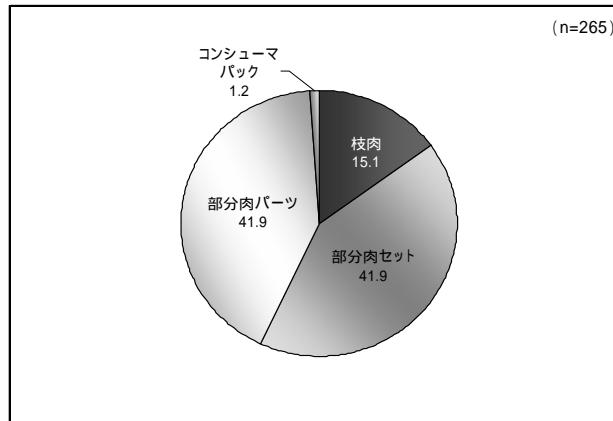
「国産牛肉(乳用種)」の1店当たり仕入量は224kgで、業態別に見ると、「総合スーパー」「食品スーパー」「農協・生協ストア」で250~300kgと多い。形態別仕入構成比を見ると、「部分肉パーツ」(69.8%)が特に高く、次いで「部分肉セット」(23.3%)。地域別に見ると、「中国」の1店当たり仕入量が508kgと多い。

2 牛肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

2. 商品別にみる牛肉の仕入形態

3) 国産牛肉(交雑種)

図表 -17 国産牛肉(交雑種)形態別仕入構成比 (単位:%)



図表 -18 国産牛肉(交雑種)の形態別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	総仕入量 (kg)	1店当たり仕入量 (kg)	形態別仕入構成比(%)				
				枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	265	77,446	292	15.1	41.9	41.9	1.2	
業態別	百貨店	10	4,380	438	1.0	84.1	14.9	0.0
	総合スーパー	10	3,910	391	3.6	52.9	39.6	3.8
	食品スーパー	123	43,269	352	13.4	42.3	42.8	1.5
	農協・生協ストア	8	951	119	0.0	79.8	18.1	2.1
	食肉専門店	108	23,800	220	20.1	31.1	48.5	0.4
	その他	6	1,136	189	78.9	20.2	0.9	0.0
地域別	北海道	18	1,851	103	0.0	72.4	26.3	1.3
	東北	29	4,075	141	1.0	49.8	48.1	1.1
	関東	93	31,427	338	3.6	50.3	45.6	0.5
	北陸	11	1,693	154	45.5	14.2	37.1	3.2
	東海	32	8,649	270	12.1	4.4	82.3	1.2
	近畿	35	16,139	461	44.4	22.8	29.9	3.0
	中国	18	7,372	410	14.2	73.2	12.6	0.0
	四国	8	2,676	335	4.9	38.5	55.8	0.7
	九州・沖縄	21	3,564	170	9.2	71.8	18.9	0.0

「国産牛肉(交雑種)」の1店当たり仕入量は292kg、「部分肉セット」「部分肉パーツ」がともに41.9%

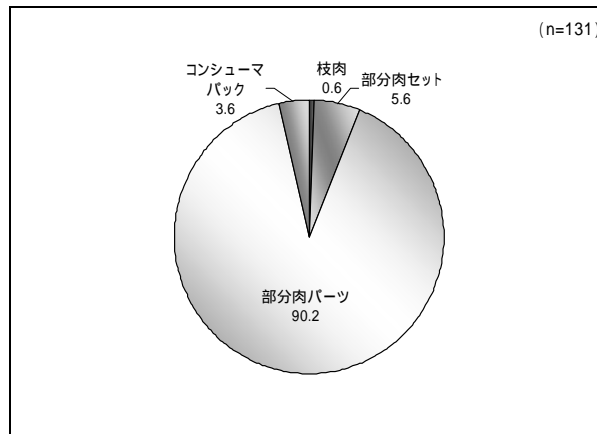
「国産牛肉(交雑種)」の1店当たり仕入量は292kgで、業態別に見ると、「百貨店」「総合スーパー」「食品スーパー」の順で1店当たり仕入量が多く、400kg前後となっている。形態別仕入構成比を見ると、「部分肉セット」と「部分肉パーツ」がそれぞれ41.9%で、「枝肉」が15.1%。地域別では「近畿」「中国」の1店当たり仕入量が比較的多く、それぞれ461kg、410kgとなっている。

2 牛肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

2. 商品別にみる牛肉の仕入形態

4) 米国産牛肉

図表 -19 米国産牛肉形態別仕入構成比 (単位: %)



図表 -20 米国産牛肉の形態別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	総仕入量 (kg)	1店当たり仕入量 (kg)	形態別仕入構成比(%)				
				枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	131	8,328	64	0.6	5.6	90.2	3.6	
業態別	百貨店	2	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	総合スーパー	8	240	30	0.0	0.0	100.0	0.0
	食品スーパー	75	6,361	85	0.2	5.0	90.5	4.4
	農協・生協ストア	2	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	食肉専門店	39	1,197	31	2.9	12.5	84.5	0.0
	その他	5	530	106	0.0	0.0	96.2	3.8
地域別	北海道	17	1,682	99	0.0	2.4	91.7	5.9
	東北	19	1,255	66	0.0	1.9	90.1	8.0
	関東	37	2,474	67	0.4	13.8	85.7	0.0
	北陸	4	50	13	0.0	0.0	100.0	0.0
	東海	19	906	48	2.3	0.0	97.7	0.0
	近畿	10	705	71	0.0	0.0	89.4	10.6
	中国	7	754	108	0.0	0.0	100.0	0.0
	四国	3	95	32	0.0	21.1	78.9	0.0
	九州・沖縄	15	407	27	3.4	9.8	80.6	6.1

「米国産牛肉」の1店当たり仕入量は64kg

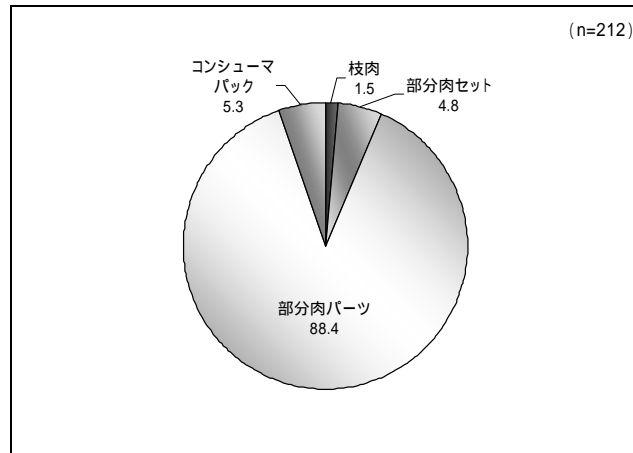
主に「部分肉パーツ」として仕入れている「米国産牛肉」の1店当たり仕入量は64kgで、業態別に見ると、「食品スーパー」で85kgと多く、「総合スーパー」と「食肉専門店」ではともに約30kg。形態別仕入構成比を見ると、「部分肉パーツ」が90.2%にのぼり、各業態でも大半は「部分肉パーツ」として仕入れている。「百貨店」「農協・生協ストア」では仕入実績がなかった。地域別では、「中国」「北海道」で1店当たり仕入量が多くなっている。

2 牛肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

2. 商品別にみる牛肉の仕入形態

5) 豪州産牛肉

図表 -21 豪州産牛肉形態別仕入構成比 (単位:%)



図表 -22 豪州産牛肉の形態別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	総仕入量(kg)	1店当たり仕入量(kg)	形態別仕入構成比(%)				
				枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	212	53,122	251	1.5	4.8	88.4	5.3	
業態別	百貨店	6	1,305	218	0.5	6.4	93.0	0.0
	総合スーパー	15	5,147	343	0.0	0.0	96.1	3.9
	食品スーパー	121	38,078	315	0.0	5.0	88.1	6.8
	農協・生協ストア	10	975	98	0.0	0.5	99.5	0.0
	食肉専門店	56	7,307	130	10.4	7.4	81.8	0.4
	その他	4	310	78	0.0	0.0	100.0	0.0
地域別	北海道	21	3,189	152	0.0	2.8	95.3	1.9
	東北	24	3,612	151	0.2	0.7	95.3	3.9
	関東	66	20,092	304	0.1	5.8	87.7	6.4
	北陸	11	1,070	97	5.2	0.0	94.4	0.4
	東海	27	6,255	232	0.0	1.6	96.0	2.4
	近畿	24	9,116	380	7.7	2.2	79.1	11.0
	中国	12	4,505	375	0.0	8.9	86.7	4.4
	四国	6	1,188	198	0.0	3.4	96.6	0.0
	九州・沖縄	21	4,095	195	0.2	12.8	87.0	0.0

「豪州産牛肉」の1店当たり仕入量は251kg、「部分肉パーツ」が88.4%を占める

「豪州産牛肉」の1店当たり仕入量は251kgで、「部分肉パーツ」での仕入れが圧倒的に多い。「米国産牛肉」とは異なり、「百貨店」や「農協・生協ストア」でも仕入実績がみられる。業態別では「総合スーパー」「食品スーパー」で1店当たり仕入量が300kg台と多い。いずれの業態でも「部分肉パーツ」が大半を占める。地域別では「近畿」「中国」で1店当たり仕入量が多くなっている。

3 豚肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

1. 豚肉の仕入構成

図表 -23 豚肉の品種別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	総仕入量(kg)	1店当たり仕入量(kg)	仕入構成比(%)					
				黒豚肉	S P F 豚肉	銘柄豚肉	その他国産豚肉	輸入豚肉	
全店舗	384	595,336	1,550	3.0	12.1	26.6	43.4	15.0	
業態別	百貨店	16	15,310	957	22.9	3.6	19.8	50.2	3.4
	総合スーパー	15	35,693	2,380	1.8	12.6	50.1	19.1	16.4
	食品スーパー	150	395,367	2,636	2.2	11.6	26.7	41.8	17.7
	農協・生協ストア	19	18,733	986	1.7	5.0	40.3	51.0	2.1
	食肉専門店	176	114,915	653	3.7	16.9	19.2	53.0	7.2
	その他	8	15,318	1,915	0.7	5.7	13.9	53.2	26.5
地域別	北海道	28	51,046	1,823	0.8	0.0	4.7	65.4	29.1
	東北	45	76,341	1,696	2.1	29.2	16.5	41.3	11.0
	関東	120	217,520	1,813	1.8	9.4	27.7	43.6	17.5
	北陸	17	20,965	1,233	0.5	3.3	38.8	48.7	8.7
	東海	45	88,805	1,973	5.4	6.6	45.0	31.6	11.4
	近畿	53	60,390	1,139	2.6	24.4	24.7	34.3	14.0
	中国	22	36,437	1,656	1.6	12.5	21.5	55.2	9.2
	四国	10	9,019	902	6.5	0.0	26.8	61.0	5.6
九州・沖縄	44	34,813	791	11.6	10.1	27.8	40.1	10.4	

豚肉の仕入構成比は「黒豚肉」「S P F 豚肉」「銘柄豚肉」が合わせて41.7%、「その他国産豚肉」が43.4%、「輸入豚肉」が15.0%

豚肉の1店当たり仕入量は1,550kgで、その4割以上が「その他国産豚肉」である。次いで仕入量が多いのは「銘柄豚肉」の26.6%。これに「黒豚肉」と「S P F 豚肉」を含めると41.7%、「その他国産豚肉」を合わせた国産豚肉全体では85.1%にのぼり、残りの15.0%が「輸入豚肉」である。

「食品スーパー」「総合スーパー」の1店当たり仕入量が多い

業態別では、「食品スーパー」の1店当たり仕入量が2,636kgで最も多く、その41.8%が「その他国産豚肉」である。次いで「総合スーパー」の1店当たり仕入量が2,380kgと多く、その約半数が「銘柄豚肉」である。「食品スーパー」「総合スーパー」では、他の業態に比べて「輸入豚肉」の仕入構成比が高い。

全体的に東日本での仕入量が多い、最も多いのは「東海」の1,973kg

地域別に見ると、東日本における1店当たり仕入量がやや多く、「北海道」「関東」「東海」では1,800kg以上となっている。

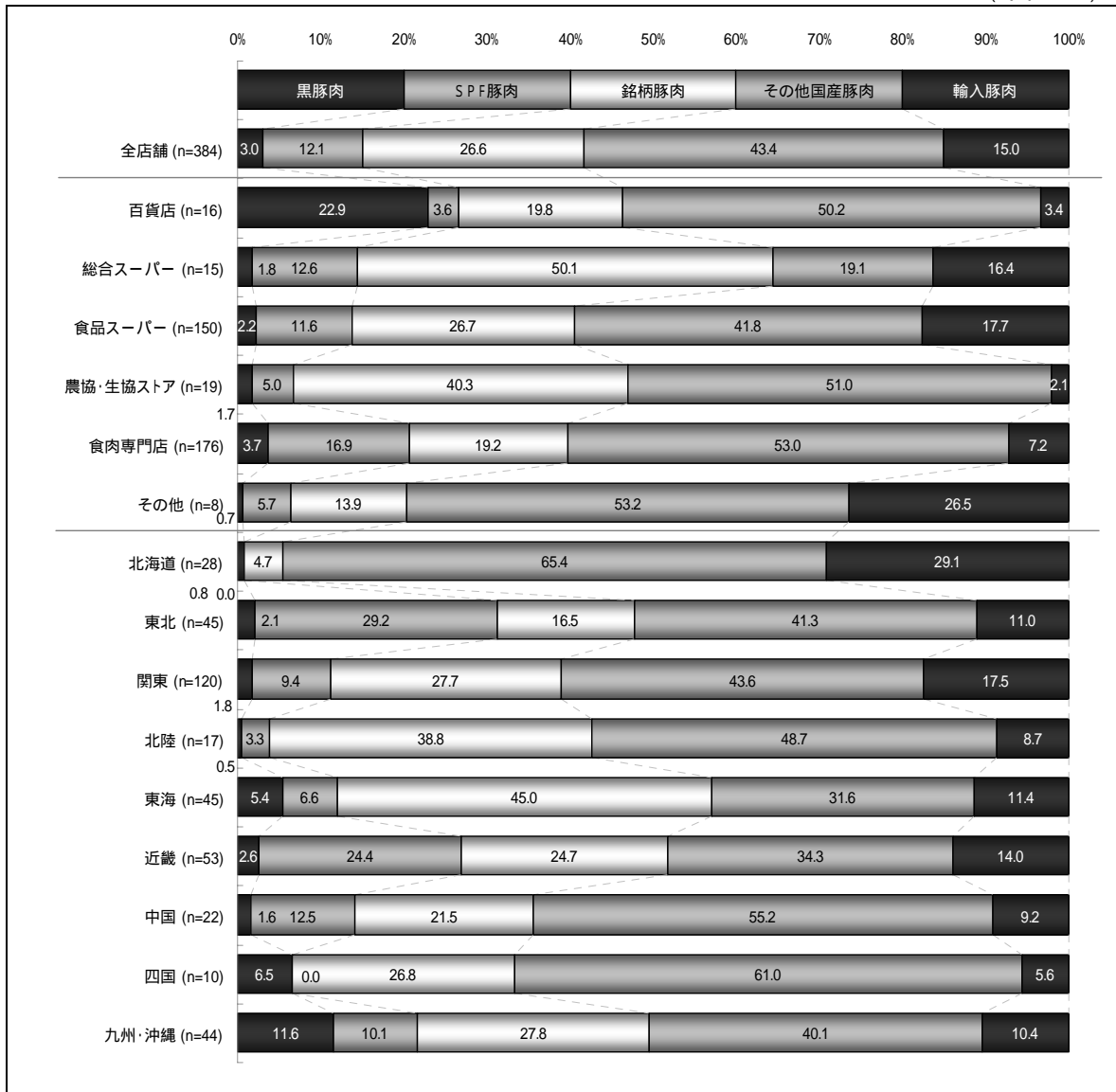
1店当たり仕入量が最も多いのは「東海」の1,973kgで突出している。一方、「九州・沖縄」「四国」では1,000kg以下と少ない。

3 豚肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

1. 豚肉の仕入構成

図表 -24 豚肉の品種別仕入構成比:業態別・地域別

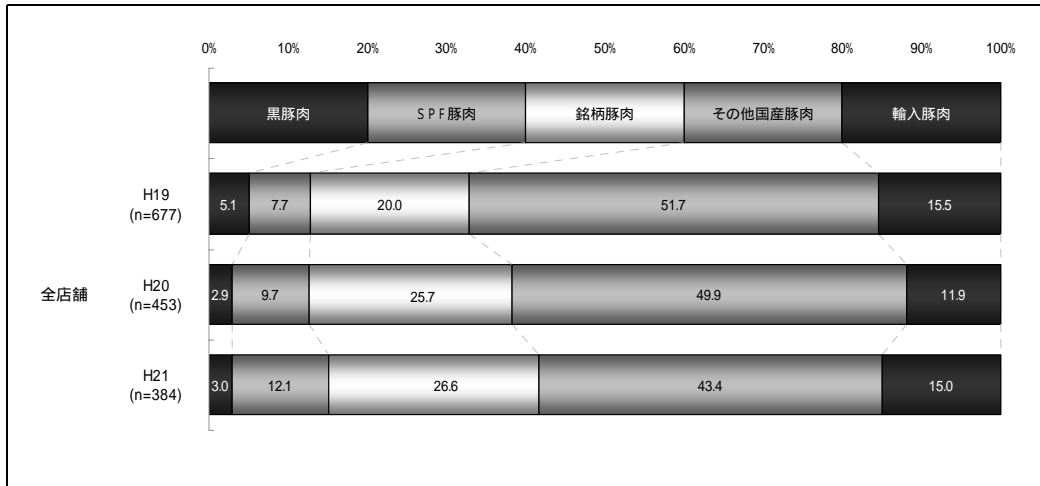
(単位:%)



3 豚肉の仕入構成と仕入量 (平成21年10月分)

1. 豚肉の仕入構成

図表 -25 豚肉の品種別仕入構成比推移 (単位: %)



図表 -26 豚肉の品種別・業種別仕入構成比推移:業態別

	回答店舗数	1店当たり仕入量 (kg)	仕入構成比 (%)					
			黒豚肉	SPF豚肉	銘柄豚肉	その他国産豚肉	輸入豚肉	
全店舗	H19	677	1,998	5.1	7.7	20.0	51.7	15.5
	H20	453	1,141	2.9	9.7	25.7	49.9	11.9
	H21	384	1,550	3.0	12.1	26.6	43.4	15.0
百貨店	H19	48	1,692	15.3	4.0	33.2	44.8	2.6
	H20	14	1,742	13.4	0.8	40.1	40.5	5.2
	H21	16	957	22.9	3.6	19.8	50.2	3.4
総合スーパー	H19	48	1,692	15.3	4.0	33.2	44.8	2.6
	H20	10	1,525	7.1	2.3	64.1	16.2	10.4
	H21	15	2,380	1.8	12.6	50.1	19.1	16.4
食品スーパー	H19	193	2,833	3.7	10.1	25.0	46.6	14.6
	H20	148	2,199	2.5	9.4	25.7	48.0	14.4
	H21	150	2,636	2.2	11.6	26.7	41.8	17.7
農協・生協ストア	H19	43	1,388	3.7	21.0	21.9	44.5	8.9
	H20	16	858	1.1	11.0	53.3	31.2	3.5
	H21	19	986	1.7	5.0	40.3	51.0	2.1
食肉専門店	H19	332	798	2.2	8.7	18.4	64.3	6.4
	H20	257	526	1.6	12.6	16.2	62.2	7.5
	H21	176	653	3.7	16.9	19.2	53.0	7.2
その他	H19	-	-	-	-	-	-	-
	H20	8	334	0.0	10.5	6.2	44.1	39.3
	H21	8	1,915	0.7	5.7	13.9	53.2	26.5

「SPF豚肉」「輸入豚肉」の仕入構成比が増加

「SPF豚肉」の仕入構成比は12.1%で前回より2.4ポイント増加している。「輸入豚肉」の仕入構成比も前回より3.1ポイント増加し、15.0%となっている。一方、「その他国産豚肉」の仕入構成比が前回より6.5ポイント減少し、43.4%となった。

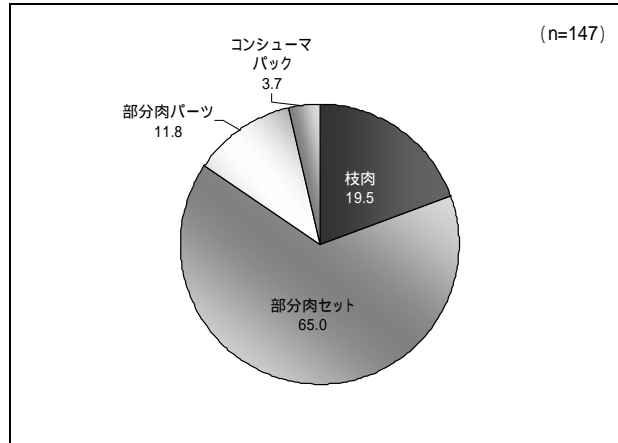
「SPF豚肉」の仕入構成比は「総合スーパー」で前回より約10ポイント増加。「その他国産豚肉」の仕入構成比は「百貨店」「農協・生協ストア」では伸びが大きい、「食品スーパー」「食肉専門店」で減少している。

3 豚肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

2. 商品別にみる豚肉の仕入形態

1) 黒豚肉

図表 -27 黒豚肉の形態別仕入構成比 (単位:%)



図表 -28 黒豚肉の形態別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	総仕入量 (kg)	1店当たり仕入量 (kg)	形態別仕入構成比(%)				
				枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	147	17,624	120	19.5	65.0	11.8	3.7	
業態別	百貨店	12	3,511	293	3.0	86.9	10.1	0.0
	総合スーパー	12	658	55	0.0	71.4	28.6	0.0
	食品スーパー	76	8,774	115	10.6	72.1	9.9	7.5
	農協・生協ストア	7	325	46	0.0	66.2	33.8	0.0
	食肉専門店	36	4,242	118	56.9	32.1	11.0	0.0
	その他	4	114	29	0.0	21.9	78.1	0.0
地域別	北海道	9	403	45	0.0	88.1	11.9	0.0
	東北	17	1,582	93	28.0	28.6	33.3	10.1
	関東	46	3,959	86	12.5	68.7	11.4	7.5
	北陸	4	114	29	0.0	96.5	0.0	3.5
	東海	18	4,792	266	12.1	84.3	2.5	1.0
	近畿	19	1,565	82	26.8	40.3	23.3	9.6
	中国	9	579	64	0.0	86.2	13.8	0.0
	四国	5	589	118	0.0	77.2	22.8	0.0
	九州・沖縄	20	4,041	202	37.2	54.1	8.7	0.0

「黒豚肉」の1店当たり仕入量は120kg、「部分肉セット」65.0%、「枝肉」19.5%

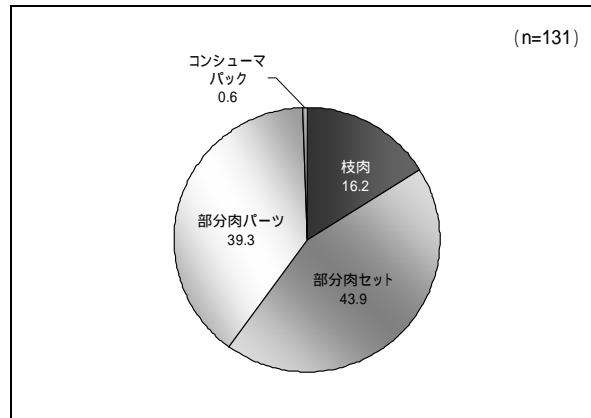
「黒豚肉」の1店当たり仕入量は120kgで、業態別では「百貨店」の1店当たり仕入量が293kgで最も多く、次いで「食肉専門店」の118kg。形態別仕入構成比を見ると、「部分肉セット」が65.0%を占め、以下「枝肉」19.5%、「部分肉パーツ」11.8%と続く。業態別に見ると「食肉専門店」では「枝肉」の仕入構成比が56.9%と高い。地域別では「東海」「九州・沖縄」で1店当たり仕入れ量が多い。

3 豚肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

2. 商品別にみる豚肉の仕入形態

2) S P F 豚肉

図表 -29 S P F 豚肉の形態別仕入構成比 (単位: %)



図表 -30 S P F 豚肉の形態別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	総仕入量 (kg)	1店当たり仕入量 (kg)	形態別仕入構成比 (%)				
				枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	131	72,109	550	16.2	43.9	39.3	0.6	
業態別	百貨店	4	550	138	0.0	100.0	0.0	0.0
	総合スーパー	8	4,510	564	0.0	6.9	91.4	1.8
	食品スーパー	60	45,801	763	10.6	52.4	36.3	0.7
	農協・生協ストア	6	930	155	0.0	26.9	73.1	0.0
	食肉専門店	51	19,438	381	33.6	32.8	33.5	0.0
	その他	2	880	440	31.8	22.7	45.5	0.0
地域別	北海道	5	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東北	17	22,257	1,309	7.9	59.4	32.3	0.4
	関東	45	20,503	456	24.8	44.6	30.6	0.0
	北陸	4	700	175	100.0	0.0	0.0	0.0
	東海	14	5,847	418	19.2	41.8	39.0	0.0
	近畿	22	14,733	670	20.4	2.7	74.8	2.1
	中国	8	4,562	570	0.0	93.2	6.8	0.0
	四国	1	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	九州・沖縄	15	3,507	234	0.0	63.0	37.0	0.0

「S P F 豚肉」の1店当たり仕入量は550kg、「部分肉セット」が43.9%、「部分肉パーツ」が39.3%

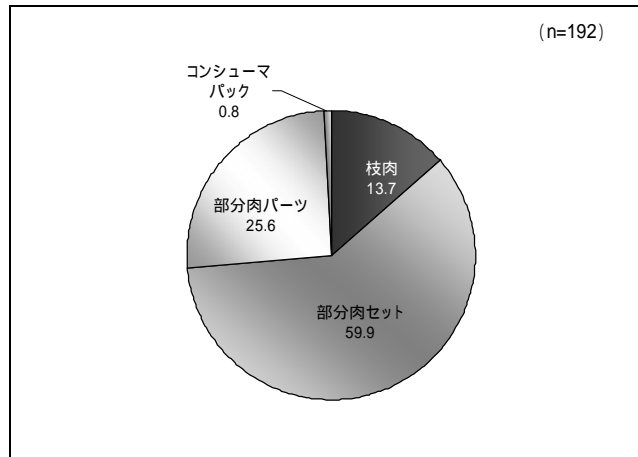
「S P F 豚肉」の1店当たり仕入量は550kgで、業態別に見ると、「食品スーパー」が763kg、「総合スーパー」が564kgと多い。形態別仕入構成比を見ると、「部分肉セット」(43.9%)と「部分肉パーツ」(39.3%)が高い。「総合スーパー」では9割強が「部分肉パーツ」である。地域別に見ると、「東北」の1店当たり仕入量が突出して多くなっている。

3 豚肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

2. 商品別にみる豚肉の仕入形態

3) 銘柄豚肉

図表 -31 銘柄豚肉の形態別仕入構成比 (単位: %)



図表 -32 銘柄豚肉の形態別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	総仕入量 (kg)	1店当たり仕入量 (kg)	形態別仕入構成比(%)				
				枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	192	158,170	824	13.7	59.9	25.6	0.8	
業態別	百貨店	9	3,039	338	40.1	13.8	46.1	0.0
	総合スーパー	14	17,871	1,277	4.7	64.6	29.4	1.3
	食品スーパー	91	105,561	1,160	7.0	67.2	25.7	0.2
	農協・生協ストア	10	7,543	754	0.0	48.7	39.9	11.4
	食肉専門店	64	22,034	344	46.6	36.9	16.5	0.0
	その他	4	2,122	531	94.3	0.0	5.7	0.0
地域別	北海道	10	2,419	242	0.0	84.3	15.7	0.0
	東北	21	12,576	599	2.1	32.5	62.2	3.2
	関東	65	60,221	926	6.3	77.2	16.5	0.0
	北陸	10	8,134	813	36.3	57.0	6.6	0.0
	東海	24	39,958	1,665	20.6	58.0	20.9	0.5
	近畿	24	14,909	621	34.3	16.6	48.9	0.2
	中国	12	7,842	654	0.0	53.2	44.2	2.6
	四国	7	2,421	346	7.4	71.5	21.1	0.0
	九州・沖縄	19	9,690	510	11.5	60.4	23.3	4.7

「銘柄豚肉」の1店当たり仕入量は824kg、「部分肉セット」が59.9%

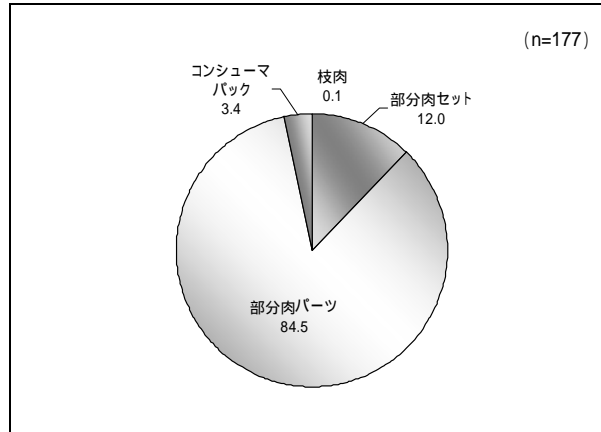
「銘柄豚肉」の1店当たり仕入量は824kgで、業態別に見ると、「総合スーパー」で1,277kg、「食品スーパー」で1,160kgと多い。形態別仕入構成比を見ると、「部分肉セット」が59.9%を占め、「部分肉パーツ」が25.6%、「枝肉」が13.7%となっている。地域別に見ると、「東海」の1店当たり仕入量が1,665kgと非常に多くなっている。

3 豚肉の仕入構成と仕入量(平成21年10月分)

2. 商品別にみる豚肉の仕入形態

4) 輸入豚肉

図表 -33 輸入豚肉の形態別仕入構成比 (単位: %)



図表 -34 輸入豚肉の形態別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	総仕入量 (kg)	1店当たり仕入量 (kg)	形態別仕入構成比(%)				
				枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	177	89,089	503	0.1	12.0	84.5	3.4	
業態別	百貨店	5	518	104	1.5	50.2	48.3	0.0
	総合スーパー	13	5,850	450	0.0	25.6	70.9	3.4
	食品スーパー	108	70,035	648	0.0	12.5	83.5	4.0
	農協・生協ストア	5	385	77	0.0	0.0	99.2	0.8
	食肉専門店	43	8,246	192	0.4	1.8	97.5	0.2
	その他	3	4,055	1,352	0.0	0.0	99.9	0.1
地域別	北海道	21	14,842	707	0.0	4.0	94.6	1.3
	東北	22	8,388	381	0.0	12.3	86.1	1.6
	関東	55	37,972	690	0.0	19.2	77.2	3.6
	北陸	9	1,815	202	0.0	0.0	100.0	0.0
	東海	20	10,120	506	0.0	0.0	98.0	2.0
	近畿	17	8,479	499	0.0	0.0	89.4	10.6
	中国	12	3,336	278	0.0	30.0	63.9	6.1
	四国	3	508	169	0.0	0.0	100.0	0.0
	九州・沖縄	18	3,629	202	1.2	21.4	77.3	0.1

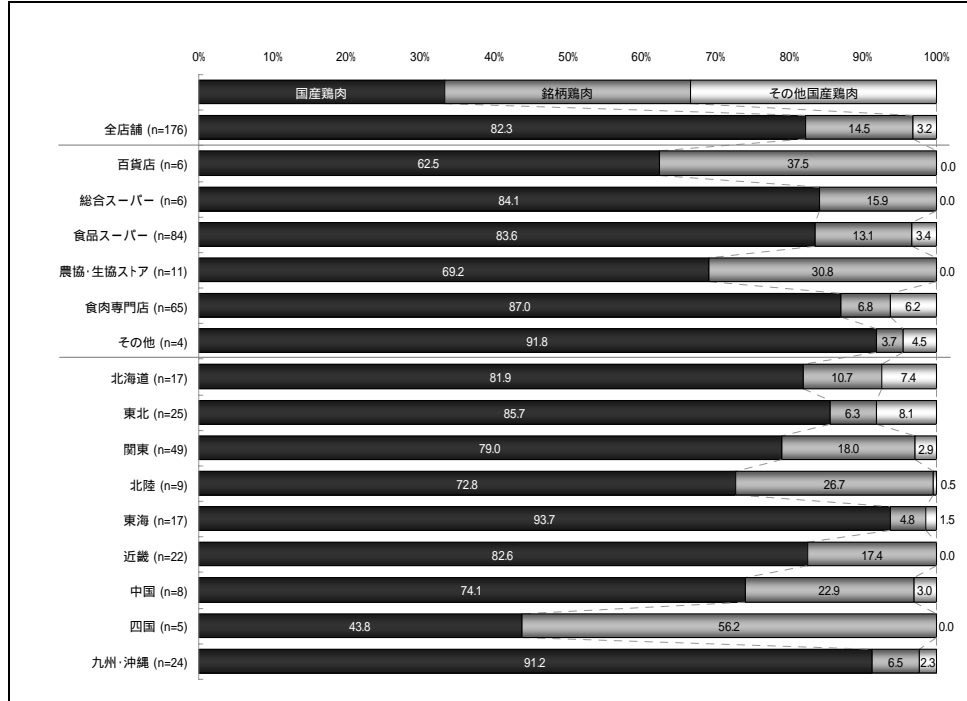
「輸入豚肉」の1店当たり仕入量は503kg、「部分肉パーツ」が8割

「輸入豚肉」の1店当たり仕入量は503kgで、業態別に見ると、「食品スーパー」が648kg、「総合スーパー」が450kgと多い。形態別仕入構成比は、「部分肉パーツ」が84.5%におよんでいる。地域別に見ると、1店当たり仕入量は東日本で多く、「北海道」で707kg、「関東」で690kg、「東海」で506kgとなっている。

4 鶏肉の仕入構成と仕入量 (平成21年10月分)

1. 鶏肉の仕入構成

図表 -35 鶏肉の品種別仕入構成比:業態別・地域別 (単位: %)



図表 -36 鶏肉の品種別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	総仕入量 (kg)	1店当たり仕入量 (kg)	仕入構成比 (%)			
				国産鶏肉	銘柄鶏肉	その他国産鶏肉	
全店舗	176	198,424	1,127	82.3	14.5	3.2	
業態別	百貨店	6	10,011	1,669	62.5	37.5	0.0
	総合スーパー	6	14,392	2,399	84.1	15.9	0.0
	食品スーパー	84	130,255	1,551	83.6	13.1	3.4
	農協・生協ストア	11	11,546	1,050	69.2	30.8	0.0
	食肉専門店	65	29,889	460	87.0	6.8	6.2
	その他	4	2,331	583	91.8	3.7	4.5
地域別	北海道	17	14,218	836	81.9	10.7	7.4
	東北	25	29,250	1,170	85.7	6.3	8.1
	関東	49	56,550	1,154	79.0	18.0	2.9
	北陸	9	6,330	703	72.8	26.7	0.5
	東海	17	21,186	1,246	93.7	4.8	1.5
	近畿	22	31,584	1,436	82.6	17.4	0.0
	中国	8	15,277	1,910	74.1	22.9	3.0
	四国	5	3,855	771	43.8	56.2	0.0
	九州・沖縄	24	20,174	841	91.2	6.5	2.3

鶏肉の1店当たり仕入量は1,127kg、国産鶏肉が82.3%、「銘柄鶏肉」が14.5%

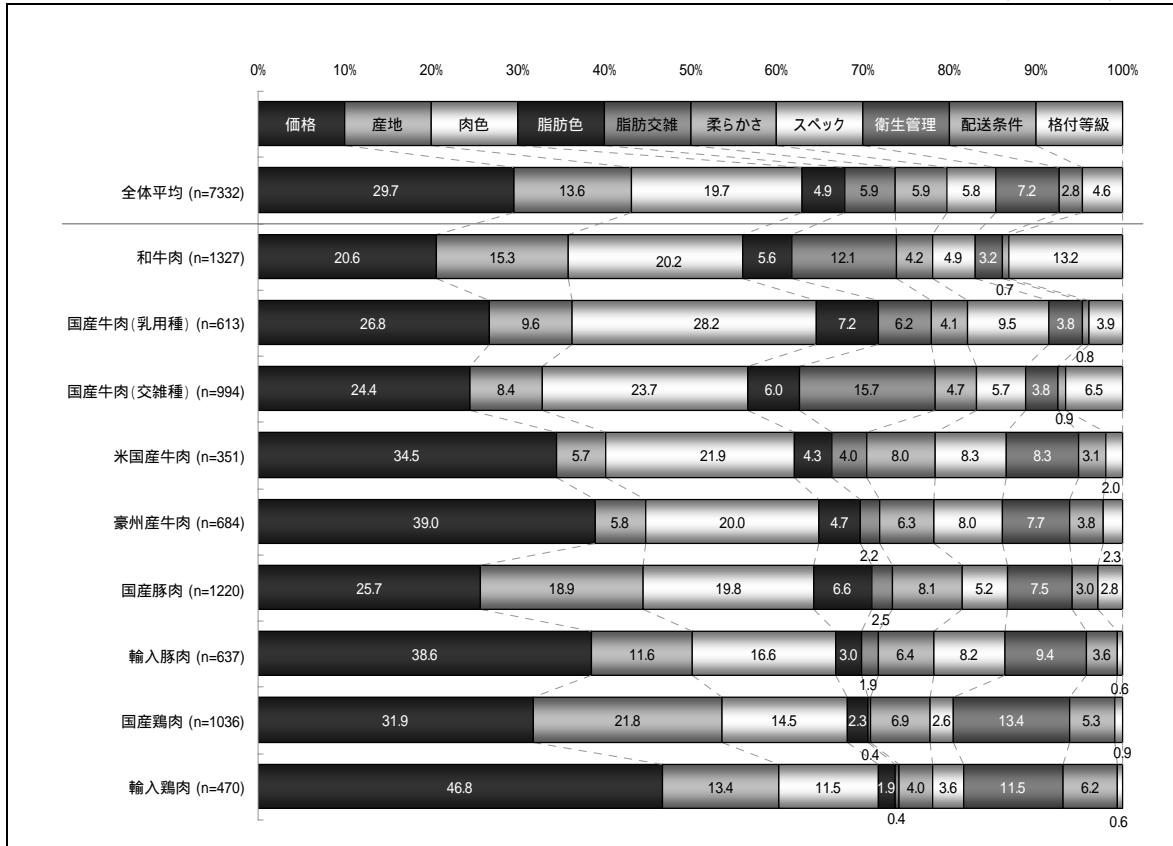
鶏肉の1店当たり仕入量は1,127kgで、業態別に見ると、「総合スーパー」が2,399kgと目立って多い。品種別仕入構成比を見ると、「国産鶏肉」が82.3%、「銘柄鶏肉」が14.5%となっている。地域別に見ると、「中国」「近畿」の順で1店当たり仕入量が多く、それぞれ1,910kg、1,436kgとなっている。

5 食肉仕入時の重視項目

1. 食肉仕入時の重視項目：品種別

図表 -37 食肉仕入時の重視項目：品種別

(単位：%)



全体的傾向としては「価格」「肉色」「産地」の順で重視されている

食肉仕入時に重視する項目としては、「価格」（29.7%）が最も多く挙げられた。以下「肉色」（19.7%）、「産地」（13.6%）と続く。

「和牛肉」では、「価格」（20.6%）と「肉色」（20.2%）がほぼ同スコアで多く挙げられた。また「産地」（15.3%）と同水準で「格付等級」（13.2%）が挙げられているのが特徴的である。

輸入肉の場合は「価格」を重視する傾向がより強く、「米国産牛肉」では34.5%、「豪州産牛肉」では39.0%、「輸入豚肉」では38.6%、「輸入鶏肉」では46.8%が「価格」を選択している。

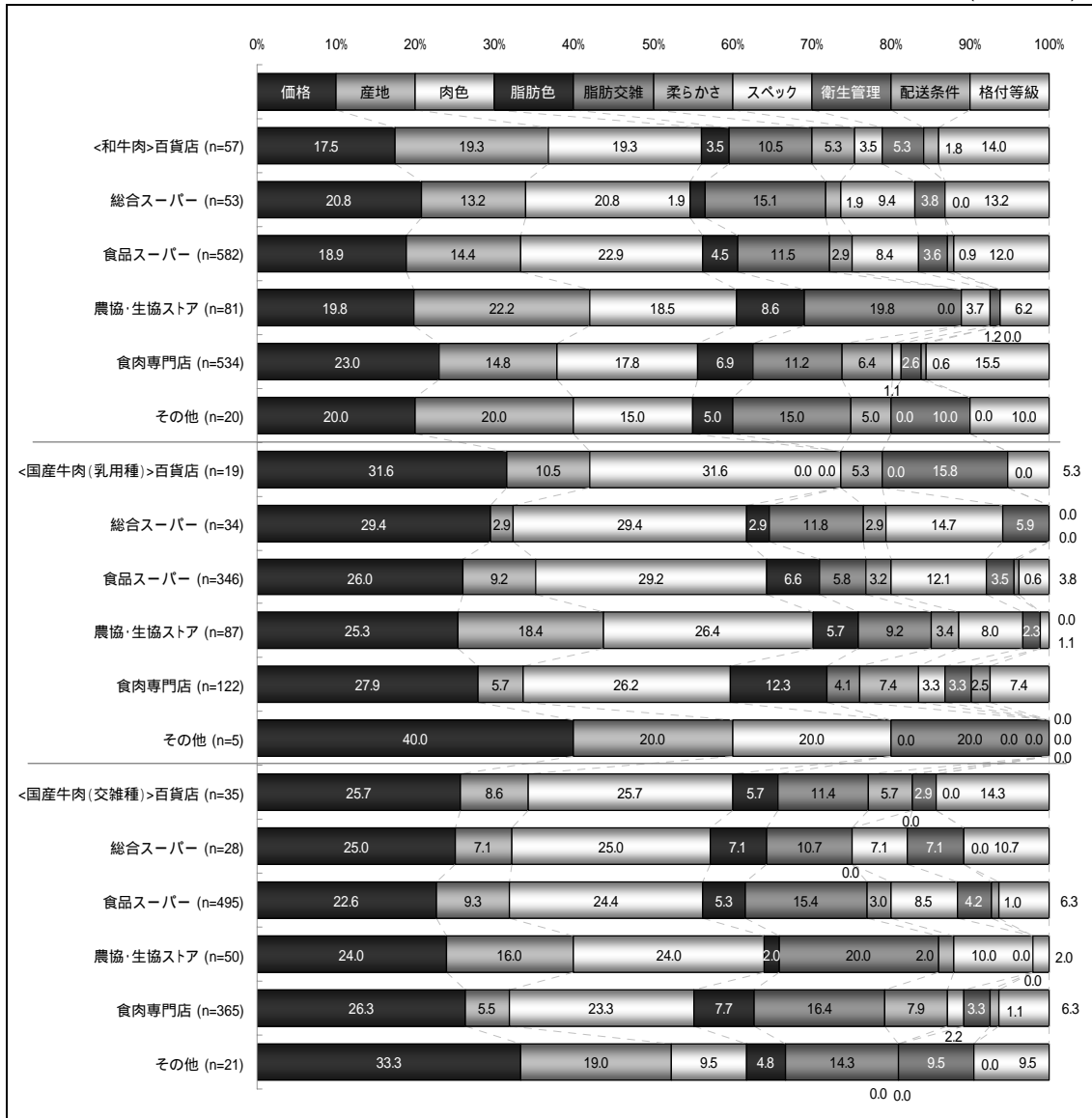
5 食肉仕入時の重視項目

2. 食肉仕入時の重視項目：業態別

1) 国産牛肉

図表 -38 食肉仕入時の重視項目(国産牛肉)：品種別・業態別

(単位：%)



「農協・生協ストア」は「産地」を重視する傾向

「農協・生協ストア」では商品に関わらず、他の業態よりも「産地」を重視する傾向が見られる。また、「食肉専門店」では他の業態に比べて全般に「価格」のスコアが高くなっている。

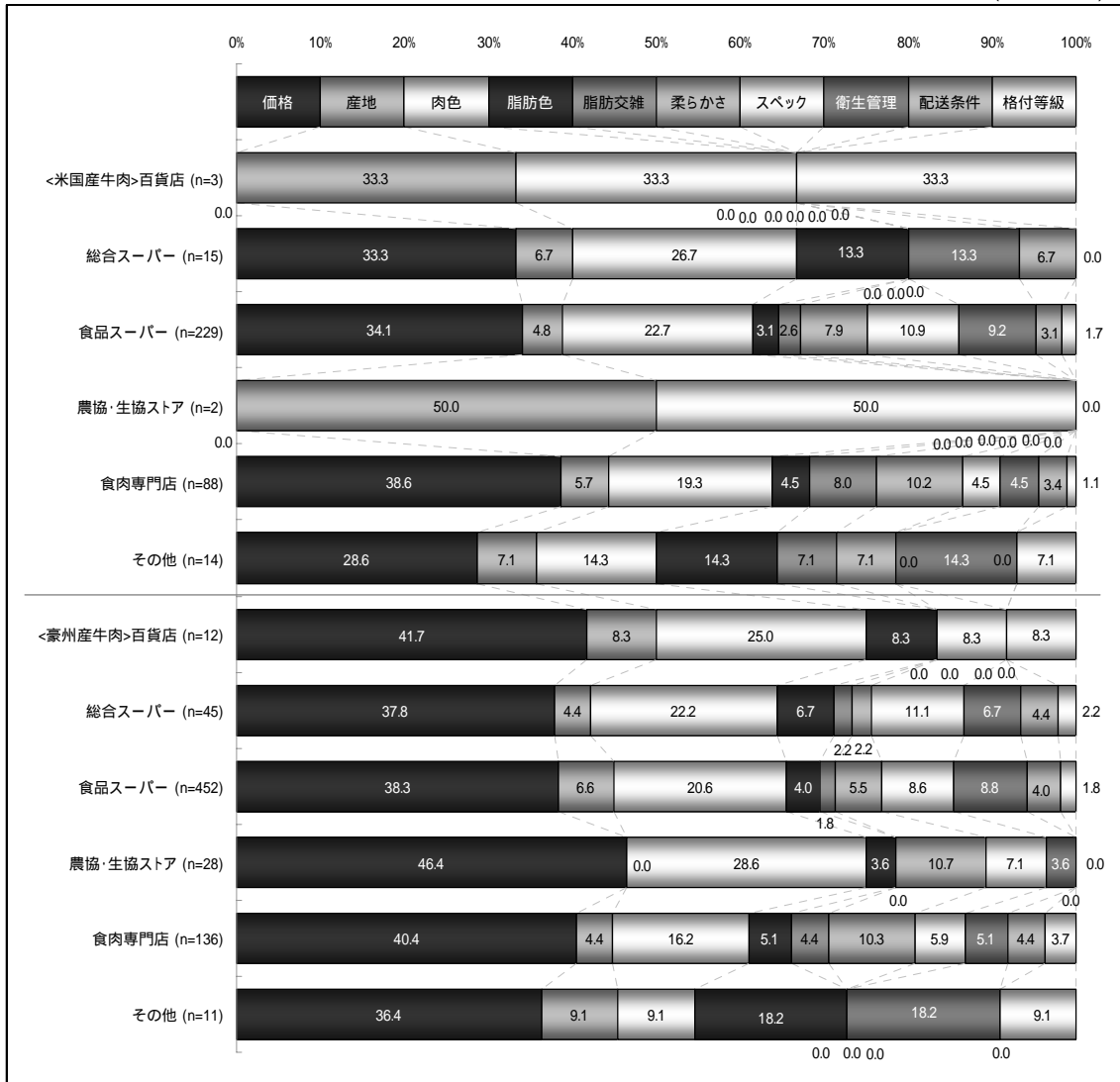
5 食肉仕入時の重視項目

2. 食肉仕入時の重視項目：業態別

2) 輸入牛肉

図表 -39 食肉仕入時の重視項目(輸入牛肉)：品種別・業態別

(単位：%)



「輸入牛肉」では「価格」を重視

業態を問わず「価格」を最も重視し、次いで「肉色」を重視している傾向が表れている。ただし、「米国産牛肉」の「百貨店」と「農協・生協ストア」は回答店舗数が少ないため、回答に偏りがある。

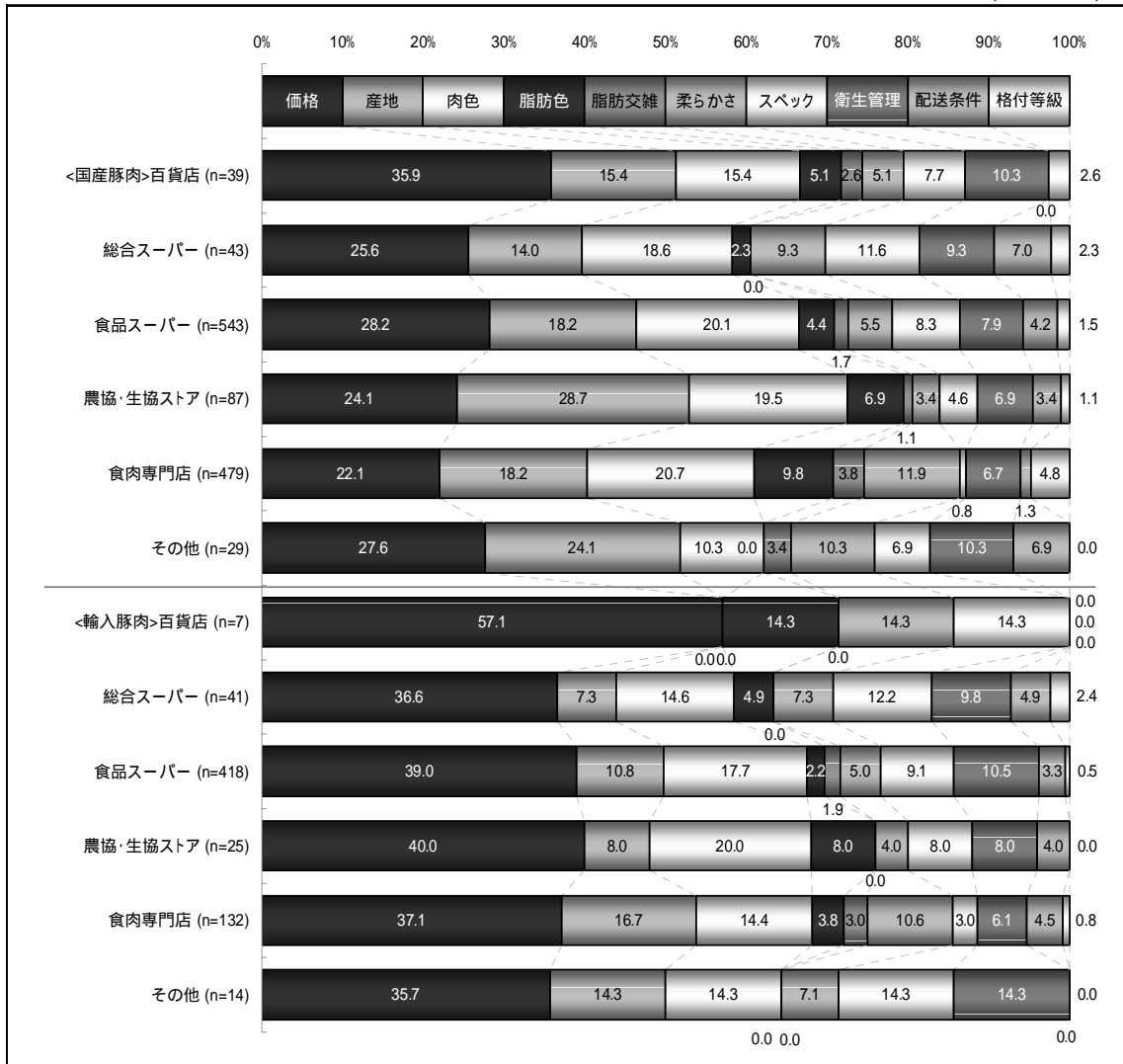
5 食肉仕入時の重視項目

2. 食肉仕入時の重視項目：業態別

3) 豚肉

図表 -40 食肉仕入時の重視項目(豚肉)：品種別・業態別

(単位：%)



「国産豚肉」では「価格」「産地」「肉色」、「輸入豚肉」では「価格」をより重視

「国産豚肉」に対しては、「価格」「産地」「肉色」が重視されている。「農協・生協ストア」では「価格」よりも「産地」のスコアが高かった。

「輸入豚肉」では、「国産豚肉」以上に「価格」が重視されている。

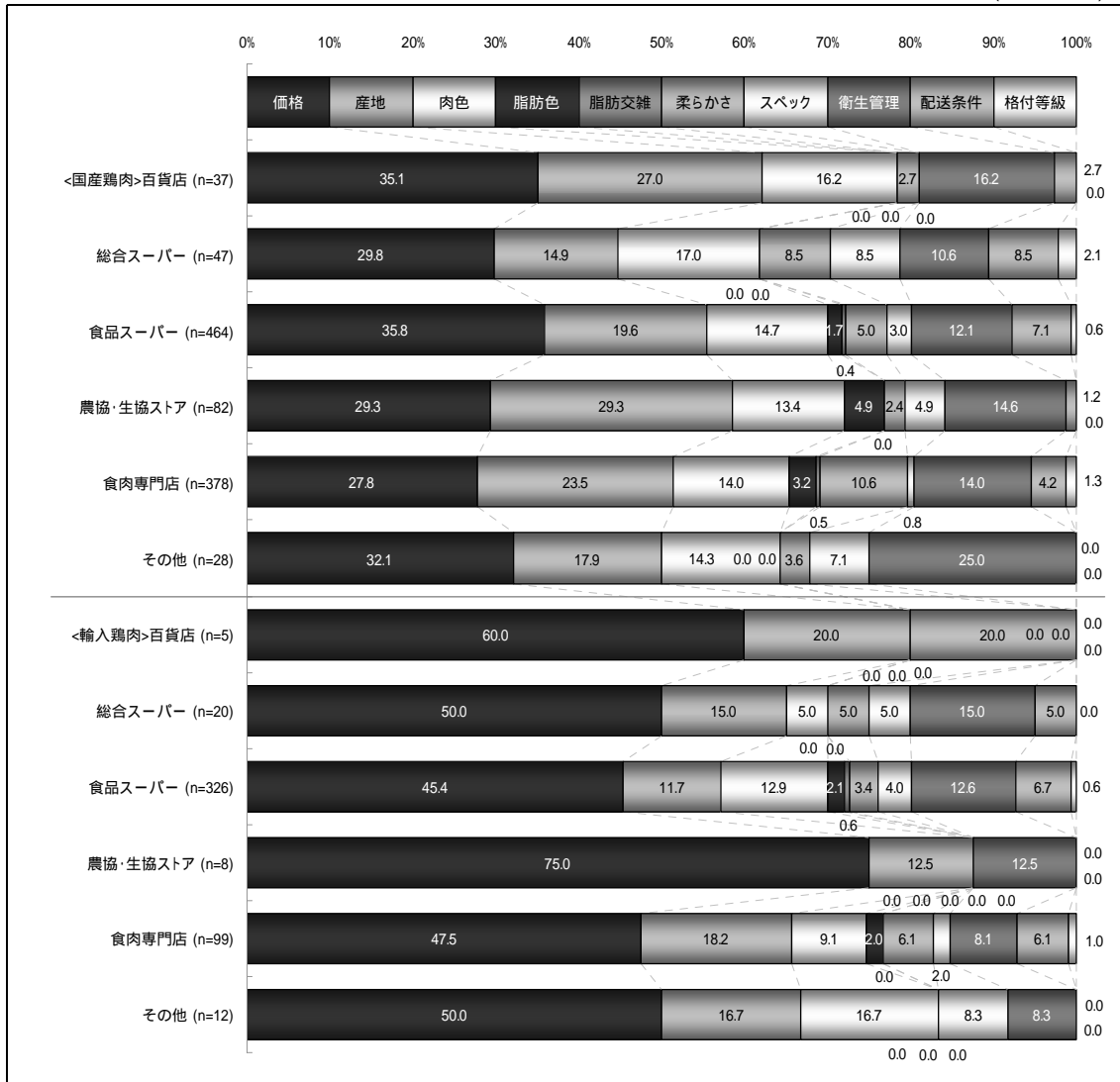
5 食肉仕入時の重視項目

2. 食肉仕入時の重視項目：業態別

4) 鶏肉

図表 -41 食肉仕入時の重視項目(鶏肉)：品種別・業態別

(単位：%)



「国産鶏肉」では「価格」「産地」、「輸入鶏肉」では「価格」をより重視

「国産鶏肉」に対しては、「価格」「産地」が重視されており、次いで「肉色」「衛生管理」も全体的にスコアが高い。「農協・生協ストア」では「価格」と「産地」が同スコアで最も高かった。「百貨店」では「衛生管理」が比較的高い。

「輸入鶏肉」では、「国産鶏肉」以上に「価格」が重視されている。